



2020年6月23日

会社名 チムニー株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 和泉 學
(コード番号: 3178 東証第一部)
問合せ先 執行役員財経担当 阿部 真琴
電話番号 03-5839-2600

持分法による投資損失、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し 並びに連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2019年9月13日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想と実績値につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、持分法による投資損失、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しにつきましてもその概要をお知らせいたします。

記

1. 2020年3月通期連結業績予想と実績値との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 44,200	百万円 2,000	百万円 2,100	百万円 700	円 銭 36.47
今回発表業績(B)	41,107	283	36	2,812	146.44
増減額(B-A)	3,092	1,716	2,063	3,512	-
増減率(%)	7.0	85.8	98.3	-	-
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	45,685	2,457	2,505	1,205	62.91

【差異の理由】

当連結会計年度におきまして、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、2月から3月にかけて売上高の急激な減少に見舞われました。その結果、特に3月単月の売上は損益分岐点を大きく下回ったことから固定費を吸収しきれず、第3四半期までの厳しい状況と合わせ、営業利益、経常利益ともに計画を下回る結果となりました。また、下記「2. 持分法による投資損失、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しについて」に記載のとおり、(株)つば八に関する持分法による投資損失、及び特別損失の計上、評価性引当額の発生により、親会社株主に帰属する当期純損益は予想を大きく下回る 2,812 百万円で着地する結果となりました。

2. 持分法による投資損失、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しについて

持分法による投資損失は、(株)つば八への投資について371百万円を計上致しました。特別損失には、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、閉店の意思決定を行った72店舗及び収益性の低下した店舗について減損損失を計上し、通期合計で2,571百万円の減損損失を計上致しました。また、店舗閉鎖損失引当金繰入額206百万円、関係会社出資金評価損50百万円、関係会社事業損失引当金繰入額20百万円等を計上した結果、特別損失は2,917百万円となりました。これらの損失計上により発生した一時差異等につきまして繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、評価性引当額が621百万円発生し、繰延税金資産が621百万円減少致しました。

以上